

美術学部絵画科日本画専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

日本画制作を通して技法・材料の理解と造形感覚を体得し、作家として創作活動ができるレベルの能力を持ち、美術にかかわる諸分野で指導的役割を担える人材の育成を目標としている。
全教員が学生の指導にあたる教育研究体制のもと、制作実習だけではなく伝統的な技法・材料の講義等も加えて、幅広く日本画について学ぶことのできるカリキュラム編成としている。

求める入学者像

- ・日本画に対して興味を持つ者。
- ・表現をすることに対して常に意欲的に取り組める者。
- ・表現することを通じて他者や社会とのつながりを考えている者。

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「卒業制作」を含む所定の単位を修得した学生に卒業を認め、学士の学位を授与する。
「卒業制作」は、専任教員全員で作品の審査と採点を行い、評価を決定する。

カリキュラム構成

- 1 年次 日本画の基本的な技法の習得、造形力や表現力の養成を目的とする。
日本画実技 I - I : 植物制作(百合・菊) 古典模写 風景制作
日本画実技 I - II : 人体デッサン 人物制作 静物制作 動物制作 自画像
- 2 年次 制作実習に加え、古典模写、人体デッサン、技法・材料研究、写生旅行の実習を行う。
日本画実技 II - I : 古典模写 風景制作 人体デッサン 人物制作
日本画実技 II - II : 古典模写 自由制作 風景制作 自由制作(絹本)
- 3 年次 学生が自主的に創作テーマを設定する自由制作により、作家活動に不可欠な能力を養成する。幅広く絵画を学ぶために、壁画又は版画実習、近畿地方(主として奈良・京都)への古美術研究旅行を行う。制作実習と並行して、より専門的な技法・材料の講義も実施する。
日本画実技 III - I : 人物制作 風景制作 自由制作
壁画又は版画実習
日本画実技 III - II : 自由制作 自由制作 自由制作
古美術研究旅行
- 4 年次 学部における学びの集大成として卒業制作を行う。
日本画実技 IV : 自由制作 自由制作
自画像
卒業制作
日本画実技 V

教育目標

- ①伝統を基盤とした現代日本画の創作
- ②伝統技術と精神の継承および発展
- ③自国の伝統文化への深い造詣と考察
- ④国内外の多様な文化への理解

年次	科目		ディプロマポリシー	教育目標
1～4年次	必修科目	日本画実技Ⅰ～Ⅴ	1. 2. 5	①②③
3年次		壁画又は版画実習		
3年次		古美術研究		
4年次		自画像		
4年次		卒業制作		
1～4年次	指定科目	日本美術史概説 又は 東洋美術史概説	2	③④
1～4年次	選択科目	共通科目	1. 2. 3. 4	④